

令和 3 年度自己評価の結果について

社 会 福 祉 法 人 秀 峰 会
つくし保育園 上大岡

1. 自己評価の集計結果

つくし保育園上大岡における自己評価の結果をご報告致します。
今後の保育の質の向上に努めて参ります。

分野	回答	イ	ロ	ハ	ニ	計	
		よく出来ている	ほぼ出来ている	努力が必要	私の業務外 または未経験		
1.	保育の理念・保育観	39.0%	51.4%	8.7%	0.9%	100%	
2. 保 育 の 内 容	1) 保育計画・指導計画	15.8%	31.6%	13.6%	39.0%	100%	
	2) 乳児保育	22.5%	26.0%	4.6%	47.0%	100%	
	3) 3歳未満児保育 (1・2歳児保育)	33.3%	60.4%	5.3%	1.1%	100%	
	4) 3 歳 以 上 児 保 育	ア. 基礎的事項	36.8%	49.7%	9.4%	4.1%	100%
		イ. 健康	28.9%	43.4%	13.2%	14.5%	100%
		ウ. 人間関係	24.6%	58.5%	13.5%	3.5%	100%
		エ. 環境	21.7%	46.1%	22.4%	9.9%	100%
		オ. 言葉	36.4%	53.6%	9.1%	1.0%	100%
		カ. 表現	23.7%	31.6%	16.8%	27.9%	100%
		キ. 特別な配慮や支援を必要とする子ども(障害児)の保育	17.5%	34.2%	20.6%	27.6%	100%
ク. 行事	22.1%	39.5%	13.7%	24.7%	100%		
ケ. 延長保育・一時保育	14.7%	26.8%	8.4%	50.0%	100%		
3.	保健活動・安全管理	28.9%	46.6%	15.4%	9.0%	100%	
4.	保護者・地域社会・関係機関との連携	21.1%	33.4%	18.9%	26.6%	100%	
5.	地域の子育て支援	12.0%	44.4%	30.1%	13.5%	100%	
6.	保育園の職務・役割分担	26.3%	44.0%	12.9%	16.7%	100%	
7.	保育士としての資質向上 (研修・研究活動)	18.0%	45.6%	23.7%	12.7%	100%	

2. 令和 3 年度の課題

- ①保育業務について、職員一人ひとりが十分に理解をしておらず、保育環境や活動内容(計画)に格差があり、子どもたちの育ちに不公平感が見られる。
- ②職員の経験や年齢差によるモラルや常識的な認識の差があり、仕事内容の薄弱や事象に対する受入れが貧相で自分勝手な行動が多く、協力しようとする姿勢や積極的に行動する意識が低い。
- ③新たな試みに挑戦しようとする思いは各自持っているように感じられるが、今の園の現状に甘んじているのか、意欲だけにとどまっているように感じる。
- ④保護者との積極的な関わりで共有できることが多いと思うが、必要とする事のみ伝え満足をしている。コミュニケーションを積極的に取り、保護者や地域との連携を強めることが必要に思う。
- ⑤支援を必要とする児に対し、クラス内だけで対応する等偏った対応がある。園全体で育ちを見守るよう体制を整える必要がある。

3. 令和 4 年度の目標

- ①保育者としての知識や質の向上(内部、外部等の研修で幅広い保育内容の取得)。
- ②職場の一員として、業務内容の理解に努め、互いに協力し合える環境作り。
- ③子どもたちの育ちに積極的に関り、保育内容や環境の充実を図る。
- ④保護者・地域との連携を積極的に行い、園運営の安定化に繋げる。
- ⑤支援を必要とする児に対し、園全体で共有、理解に努め、安心できる環境を提供する。